

ぼろっ

男は器用にも繋がったまま
お互いの体勢を変え、後ろから
女性の臀部に腰を打ち付けるような
動きやすい体位をとる

まだまだチンポ元気だしさ〜
種付けセックス続けるよ♪

俺ばっか気持ちよくなってちゃ
悪いからさあ、今度はちゃーんと
奈瑚ちゃんも気持ち良くなるよーに

そしてまだ健在である自らの
ペニスをアピールすると共に
この強姦強制種付けが
終わらぬ事を知らしめる

うっ……嘘……
そんな……っ！

オマンコぐちゅぐちゅって
イジメぬいて調教するねー♪

やっ、やだあつ！まだするなんてっ！
お腹のナカっ、一杯なのっ！
ザーメン早く出さないとっ
排卵してっ 妊娠しちゃう…っ

お腹の…子宮の中では
熱い液体が粘り気を帯びて
ちゃぷんと音を立てている

もう二度も無避妊の膣内射精を
危険日の膣に直接注ぎ込まれている

ダメ♪明日が排卵日なら
少しスタートダッシュ遅れてるんだしさ
遅れた分もしっかり種付けしないとね♪

ちなみに一番受精しやすいのはさ
排卵日の2日前なんだよ、知ってた？

ちゃんと当たるように
子宮ザーメン漬けにして
確実に妊娠するようにしちゃうね♪

うるうる

うるうるうる

やあ…やあ…っ！

ザーメンやだっ！
妊娠っ、嫌あああっ！

妊娠——その言葉が
頭の中をよぎった時
彼女は涙を流しながら
狂ったように叫んだ

どうかな？一番奥まで
又プ又プって生チンポで
犯されてるのわかるよね？

おっ、奥うっ……っ
入って……くるっ……！

異物が深く挿入される際
くぐもった声が漏れる

——だが

その苦しそうな吐息には
確かに艶が出ていた

んんあ……あっ……
んっ……っ……っ……！

やっぱり子宮調教するのは
バックからパンパンするのが
イチバンだからねえ♪

おっ、奥うっ……っ
入って……くるっ……！

ほくそ笑む口からそう言いながら
レイプ被害者の反応を楽しみつつ
男は腰を突きだし本格的に
交尾運動を始める

合意では無い
寝込みを襲われた
無理矢理犯されている

それなのに——

危険日に2度の精を受け
蹂躪された雌の生殖器は
目覚め始めていた

一方的な吐精に
その度達してしまっていた

——カラダは
感じ始めていた

ひくっ……

っく……うっ……

ひくっ……

熱く生々しいペニスが動く度
頭の中に肉欲の多幸福感が勝手に
流れ込んでくる

ぬい……てっ……
あっ……んんん……っ

それに抜かずに2発も
精液ナカ出して

子宮から零れる事が無いように
しっかり蓋して注いだからさ

オナカの中で俺の子種が
ピチピチ泳いでるの感じるでしょ

子宮の中で精液が揺れる度に
全身に心地よい甘美な痺れが
這い上がるように拡がっていく

これ以上は危険だと
彼女の理性が告げる

無理矢理叩きつけられる
快楽に流されてしまう前に
必死に身を振ろうとする

動く……なあ……っ！
お腹のナカっ
感じさせないでっ……！

ぴくっ…

んん…

あ…

ぐぐ…

ずっ！

ずっ！

ずっ！

ひくっ…

ひくっ…

とろお
にちやあ

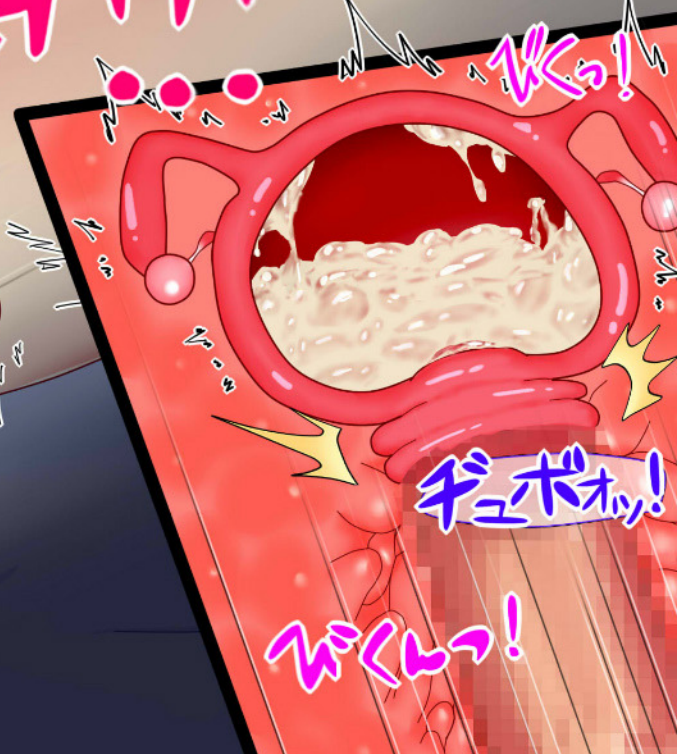
おっとっと逃がさないよ
それポルチオに一撃っつゝ

心身を消耗した所へ
女の弱点である子宮へ
強い強い不意打ち

ひぐっ!!!

否応なしに叩きつけられた
快感に思わず甲高い口が漏れる

ずはぁん!!!



奥の奥へと硬く重い一撃に
彼女の肢体に雌の悦びと
痺れるような衝撃が走る

やっぱりココ弱いねえ
そーんな声出しちゃって

オチのオチの
オチのオチの

びくっ!

っ!!!

びくっ!

でもいいのかな？
あまり大きな声出しちゃうと
お兄さんに気付かれちゃうよ？

ひはあ…っ！

奈瑚ちゃんが知らない男と
種付け子作りセックス
しているの知られちゃうよ？

まるで理性の無い
本能だけの獣のように

お兄さんお疲れなのかな？
俺が入って来た時も
気付かなかったみたいだし
机に突っ伏して寝ちゃってたよ？
そのまま素通りしちゃった♪

ここからなら…
聞こえちゃうかもね？

グレイプ魔は大きく腰を

先程までの体制と違い
動きやすいポジションを
得たオスの身体は

水を得た魚のように激しく
腰を使い前後へと突き入れる

おはうん

おはうん

意識が遠くなり
呼吸が飛ぶ
深く息をするが
まだ整わない

はっ…っ！
はっ…っ！
はっ…っ！

はあ…あ…

あ…あ…

ピクッ

ピクッ

だがその目はとろんと
蕩けたものになっていた

それに一番悪いのはこおんな具合のいい
ハメ穴している奈瑚ちゃんだよ？

あまりに自分勝手な
レイプ魔の理屈に、
快楽に溺れてしまい
そんな意識を引き戻す

そもそも裸で寝ているのが悪いんだよ
襲ってくれって言ってる様なもんだねえ
だからレイプされちゃうんだよ？

くっ……この…
ヘンタイイ……い……っ！

だから……っ
動く……なあっ……っ
この……っ、ストーカーがあ！

あく気ン持ちイイ……♪
レイプしてよかったあっ♪
こんな種付けし甲斐のある又キ穴
犯さないと勿体ないじゃん♪
絶対に孕ませるからねえ♥

そうだ、コイツはレイプ魔だ
兄と住む家に不法に侵入し
部屋へと忍び込み

あまつさえ眠っていた
自分を強姦しているのだ
彼女は怒りは治まらない

おろっ

おろっ

おろっおろっ

んんん……

くっ……うっ……!

びるびるびるっ

こっ……この……っ……
レイプ魔がっ……何言って……っ!!

女を犯してっ、孕ませるような
事しか考えてないっ
脳味噌のくせにっ……

こんな一方的に押し付けるような
快感になんて負けないっ

彼女はそう言わんばかりに吼える

違っよお、それも考えてるけど、
ちゅあんと女の子もトロけさせて
気持ちよくさせる事も考えてるよお？

しかし男は、そんな敵視する
怒号にも少しも気に留めず

陽気な口のレイプっ……っの
美学まで語り始める

ね、奈瑚ちゃんも気持ちいいよね？
こおんなに膣内のお肉ヒクヒクさせてさ
チンポにピンピンきてわかるよお？

この男は何を言っているのだ？
彼女の理解が追いつかない

オハッ

ピクッ!

んあぁ……っ!

ピクピクッ

く……っ……
んう……っ……
……っ……!

オハッ

ほらほら腰をもっと上げてさ
沢山突き込みやすい様にね♪

肉棒の先で子宮ごと
持ち上げられる感覚

やあっ……!!
ポルチオ……っ!
押し……上げるなあ!!

その方が奈瑚ちゃんも
気持ちいいでしょ?
一杯動いてあげるから♪

そうして反り返ったペニスで
お尻ごと位置を上げさせられ
より突き込みやすいように
腰を合わされてしまう

おろろろろろろろろ!!



奥の大事な所に亀頭が挿さり
快感となって頭の中が真っ白になる

そんな乱暴的な強辱にも
肢体は牝の悦びを
しっかりと感じ取っていた

あつく……っ
コイツのチンポっ
長……いいっ……!!

ガッ……はあ……!!

ビクビク!!

ビクッ

ビクッ

ビクッ

グァイイイ

ほーら気持ちいい気持ちいい

おはは

いやあっ！どうしてっ
レイプっ、なんでしょっ
なんでっ…こっちまで
気持ち良くっ、させるのっ…

子宮うっ、感じっ…させないでっ！
カンチガイっ…しちゃううっ…

おはは

そうそうレイプだよ♪
レイプだからこそさあ
嫌がる相手に無理矢理
快楽叩き込んで俺のチンポで
あへあへさせるんだよ？

じゅぼじゅぼといやらしい音と共に
ペニスがヴァギナを往復する度
蕩けるような快感が走ってしまう

おはは

まあその結果、チンポ堕ちして
気持ちよくなっちゃった娘
みーんな俺の赤ちゃん妊娠
許しちゃうんだけどね♪

ビクビク

ビクビク

なっ！！

!!!

後ろから大切な
赤ちゃんの部屋を
乱暴に抑えられ



おろろ

やああっ！やだっ！
アンタのなんていやあっ！！
あんちゃんのこと……
あんちゃんの赤ちゃんがいいっ！！

男の狙いはソレだったのか
全てを理解してしまった
妹は凄絶に拒絶する
慕い人の名を叫びながら

え？？俺のチンポ啜えながら
こんなに感じちゃってるの？
気持ちよくなってるの丸判りだよ♪

おろろ

単に女を犯し好き勝手に
辱めるのではない

あんちゃんの事が好きなのに
あんちゃんの赤ちゃんが産みたいのに
浮気チンポでマンコよくなっちゃっていいの？

強引に快樂と幸福感を叩きつけ
深い女の恍惚を目覚めさせ
忌み嫌う筈の男の逞しい身体に
溺れ沈め手籠めにしようとしている

おろ

禍々しい雄の生殖器で
子宮を惚れさせようとしている

このまま気持ちよくなって
アクメ決めちゃったら
妊娠するしかないんだよ？

がくがくがく

いっーいやあっ！

お兄さん以外の男の
浮気チンポでさ♪

堕ちてしまったら合意だ
嫌々でも気持ちよくなって
しまったのならもう浮気だ
そしてその先にあるのは…

こんなの…っ………!!
浮気じゃなくて強姦っ
レイプっ……してゐくせにっ

でもオマンコはもう甘えてきてるよお?
悦んでるよ?もっと俺のチンポ食べたいって
あんちゃんチンポいるのに浮気してるよ?

彼女の中でその解が導き出された時
男のセックスを否定し全力で抵抗し
身体を震わせ今一度逃れようとする

こんな無理矢理犯されて
気持ちよくなってなどいない
こんなのまやかしたと
間違いだと自分に言い聞かせながら

そんな事っ、無い…っ!!
気持ちよくなんかっ
ないんだから……っ

おはっ

おはっ

おざん

あらら、まだ認めない？
そんな事はあるんだよ♪

だから感じてなんか…

ああっ！いやっ！
あっ！あっ！ひいあっ

ずばぁん！！

…まあいいや、こーんなレイプ魔に
負けちゃって気持ちよくなっちゃって
感じまくりの浮気おまんこには
オシオキしなくっちゃね♪

こーんなイヤラシイお尻して
思わずズボズボって服従させて
孕ませたくなるお尻だしね♪

ずばぁん！

ビクッ！

だが男は無慈悲にも
更に激しく腰を振る

快感に反応する肢体が
勝手に膣内を締めつける

強引に釣り上げられている
腰はガクガクと痙攣し

ずばぁん！

灼けつくような快樂と

甘く蕩けるような幸せが

ビクッ！

ああああっ！

子宮から脳、そして手足へと
包み込むみたいに伝わり
抵抗する力を奪っていく

おおお〜いいいいいよ〜♪

もう既に身体の力は入らず
瑞々しい若いカラダは強姦者の
荒々しいピストンに合わせて
揺さぶられてしまっている

ずは〜!

苦しそうな牝の喘ぎ声すら
男には興奮の糧となり
より腰の速度が上がっていく

ずは〜!

膣内の柔らかかお肉が
こんな絡みついて来るし
にゆるにゆる手前から奥につて
ザーメン搾り取る動きしてるし
腰が抜けちゃいそうだよお♪

ずは〜!
ずは〜!

奈瑚ちゃんのナカあったか〜い♪
突けば突くほどイイ具合で…
うん、まさに出産適齢期の
十代の孕み頃、孕み盛りの
いい妹オマンコだね♪

危険日でぶっくりと充血している
膣ヒダは誘うように畝り
肉棒を逃さないように
根元をきつく締め上げる

ピクピクッ

あぁ…

がぁ…

ピクピクッ

小さな快樂大きな快感の波が
不規則に何度も交互に来ていた

おおぅ、くぶぅぅぅ〜

気付きたくは無いのにな
気づいてしまった

えっ? あっ? こわって...?
もしかして...??

ずわわわ!

今、自分に突き挿さっている
肉の槍がビクンツと慟哭したと共に
より硬く、反り返った事に

それは同時に、この後また
行われてしまうであろう
最悪な行為の前触れである

あ、気付いた? そうだよ
そろそろまた種付けの時間だよ
もう俺のチンポが射精する前の
ビクビクわかったんだあ♪

優秀だねえ、それとも相性いいのかな?
今までで一番孕ませ甲斐があるよ♪

ずわわわ!

ずわわ!

そんな相性が
あるはずはない

え...?
や...やあ!

そう彼女は願う
しかし無情にも事実、
彼女の蜜肉は凌辱に
散らされている一方で
オスの吐精の前兆を
しっかりと感じ取っていた



ずいぞう!!

や、やだあ!
今だめっ、駄目駄目えっ
今っ、孕みやすいからっ

ずい!

認めたくなかった
受精に適した周期のカラダは
発情してしまっている
雄の精を受け入れたがっている
こんな男に対して

子宮っ、ホンキで赤ちゃん
作る気になってるからっ

やっぱり奈瑚ちゃんも
わかってるんじゃないっ

今、気持ちよくなっちゃってるってさ
精液ドブドブって射精されて
子宮でアクメしちゃったら

絶っく対、妊娠しちゃうってさ

ずいぞう!

—しかし

既に二度も注がれてしまった
子宮の入り口は更に開いてしまい

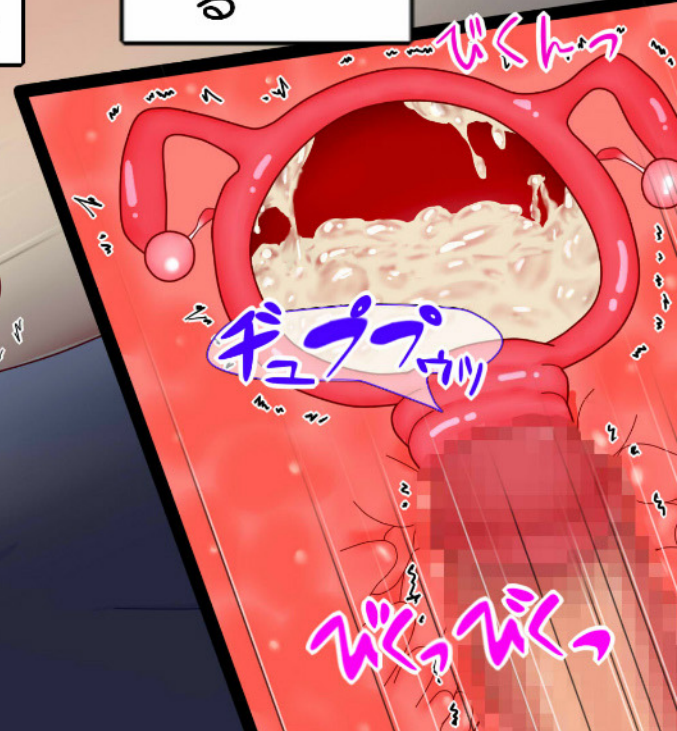
彼女の意思とは関係なく
ちゅうちゅうと肉棒の先端に吸い付き
一滴も零さない様、膣肉をきつく
それでいて柔らかく締め上げていた

—そんな事なんて
望んでないのに—

やだ...!!

やだやだやだあ!!

あゝ出るよ出るよ射精しちゃうよ
このまま抜かずの3発目で
俺の精液で受精するのが好きな
オマンコに調教してあげるからね



そして一切の躊躇なく
手加減も無く
慈悲の心も無く

孕んっ…どんま

ドビュウッ!!!

ダメっ! 駄目えっ!!!!

始まった—

牝を快樂の底へと浸らせ
その子宮に自分の種を
仕込む為めの射精が—

グチュッ!!

びくっ!!

びくっ!!

おうっふ、おう♪
おおあっ〜〜!

カラダの中で
どびゅどびゅびゅっと
精液が叩きつけられる
音が聞こえる

子宮に注がれている
子種を仕込まれている感覚と
精液の重さと熱さの感触に
また昇りつめられていた

あっ、あっ、あっああ…

びくっ…!!

そ…そんな…

びくっ…!!

うあっ!はああっ…
出るう〜気持ちい〜♪

ビュグッ!!

ビュッ!

ドグズ!!

びゅるっ!

びゅるっ!

びゅるっ!

オスとメスは深く結合したまま
同時に絶頂を迎え何度も痙攣する

んんっ、んんっ♪
射精てるよお♪

男は繁殖適齢期な牝の膈内に
己が遺伝子を仕込んでいる事に
歓喜し、より多くの種を送り続ける

あゝ射精止まんないよおっ
奈瑚ちゃんのマッコっ
今まで射精した中で
イチバンのヌキ穴だよっ♪

気持ち良ゝすぎて
精液信じられない位
射精しちやってるよほお♪

ドグッ ドグッ!

あっ、ああ……っ
ま、また中に……

彼女から大粒の涙と
絶望に染まった
掠れた声が零れた

危ない……のに……
デキちゃうのに……

それでも射精は止まらず
奥へ奥へと注がれ続けていく

ヒーン、して……ないのに……
……あんちゃ……ん……

んんっ…んんっ…

んんっ…んんっ…

ドグッ!

たほっ

たほっ

ふうっふう、ふうう〜♪
あく出る出るっ〜
最後まで射精させてね？

蓋をするかのように
肉棒が入り口を押さえ
逃げ場の無い精液が
零れる事無く
子宮内に溢れていく

あ、あああ……

危険日のマン肉に
包まれながらの射精っ
気持ちいい〜♪

ドグンッ!

お腹のナカが熱くなっていく
お腹のナカが重たくなっていく

そして危険日の膣奥を
何度も抉られ穿たれ続け
何度も濃厚で大量な精の

射精を受けた子宮が——

…え……？
あっ……なっ……なに……？

今までにない反応を
示していた

きゃっ
きゃっ

びんっ

きゃっ

きゃっ

ドググ

おっ？

『排卵』

——子を成す為の
精子との番である卵子が
生まれてしまった——

びくっ!!

!!!!

びくっ!!

ホニッ



彼女の意思とは関係なく

身体が、子宮が、
オナナの部分が、

この男を繁殖相手と認め
自然妊娠を望み、その卵を
産んでしまっていた

……いまあ……
はいらん……排卵……したあ……

それと同時に
はつきりと感じとれた
排卵の感触と感覚に

今まで味わったことの無い
快感が肢体を突きぬけ
またもや絶頂へと至っていた

……卵子……
産まれちゃったあ……

はあ〜…

は…あ〜…

そうして完璧に受精の準備が
出来てしまった妹は

未だカラダが弾ける様に続く
余韻の中、幸福感と絶望感で
がっくりとうなだれるのだった

ひくっ…

ひくん…